

平成30年8月

市長定例記者会見次第

1. 日 時：平成30年8月10日（金） 14：30～ （約1時間）
2. 場 所：405会議室
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
 - （1）平成30年7月豪雨災害における被災地への職員派遣について（資料番号1）
 - （2）雑がみ回収促進袋による古紙資源化の促進（資料番号2）
 - （3）金沢市景観・文化総合アドバイザーの設置及び委嘱について（資料番号3）
 - （4）金沢甘エビまつりの開催について（資料番号4）
 - （5）加賀鳶発祥300年PR動画の配信について（資料番号5）

市長定例記者会見資料

平成30年7月豪雨災害における被災地への職員派遣について

中核市市長会及び厚生労働省からの要請を受け、平成30年7月豪雨災害からの一日も早い被災地の復旧に向け、岡山県倉敷市と愛媛県西予市へ本市職員の派遣を実施しています。現地では、避難所の運営や住民の健康管理の業務に従事するもので、約1か月の派遣となります。

(1) 派遣先、業務、派遣職員及び派遣期間

派遣先	要請内容	所属局	派遣人数	派遣期間
岡山県倉敷市	避難所運営	市民局	6人	7/24～8/31 期間中約1週間毎に 2名ずつ派遣
		福祉局	6人	
愛媛県西予市 ^{せいよ}	高齢者等に対する 訪問での健康管理 (当初予定は避難者 健康管理)	保健局	2人 (当初予定は5人)	7/30～8/9 期間中1週間毎に 1名ずつ派遣 (当初予定は7/29～8/24であったが、 台風の影響や要請業務が予定より 早く終了したことにより短縮となった)
		計(延べ)	14人 (当初予定は17人)	

(2) 平成30年7月豪雨災害における被災地への職員派遣激励式

日時 7月24日(火) 午前9時15分～9時30分

場所 市役所4階 405会議室

- 激励式次第 (1) 派遣趣旨
(2) 派遣職員紹介
(3) 市長訓辞
(4) 派遣職員出発挨拶

(3) その他支援内容

義援募金箱を市役所本庁舎、市民センター等22箇所設置(7/12～9/28)

市長定例記者会見資料
雑がみ回収促進袋による古紙資源化の促進

燃やすごみに含まれる再生可能な雑がみを分別するきっかけづくりとして、新たに雑がみ回収促進袋を作成し配布することで、更なるごみの減量化・資源化を推進します。

1. 配布時期

8月から順次、必要部数を集団回収実施団体を通じて各家庭へ配布

2. 配布する袋の概要

(仕様)

縦 320mm×横 320mm×マチ 115mm

市内の集団回収による古紙を原料とした再生紙を使用

(活用方法)

- ①雑がみを分別して袋に入れる
- ②回収時の散乱防止のため、ひもやテープでくちを閉じる
- ③地域の集団回収に出す

※ストアーくる・ステーションや資源搬入ステーションなどの雑がみを回収している拠点への持ち込みもできます。

(その他)

作成部数：142万枚

配布枚数：1世帯あたり6部程度

作成経費：26,991千円

(参考) 市立の全81校の小中学生約35,000人に対し、夏休み前の7月中旬に、児童・生徒用の回収促進袋を配布済
冬休み前の12月頃にも配布予定

金沢市景観・文化総合アドバイザーの設置及び委嘱について

1 目的

本市の景観や文化に関し、総合的かつ全国的な視点からの検討を加え、これらの分野に関する政策をより一層推進するとともに、職員の政策形成能力の向上を図るため「景観・文化総合アドバイザー」を設置する。

2 主な職務

- (1) 本市の景観や文化に関する政策への助言及び意見に関すること。
- (2) 前号に定める政策に携わる職員の指導及び当該職員からの相談への対応に関すること。
- (3) 景観や文化以外の分野に関する助言、指導等並びに当該分野に関し識見を有する者の本市への紹介及び連絡調整に関すること。

3 アドバイザー

神戸芸術工科大学教授 西村幸夫氏

[プロフィール] 東京大学都市工学科卒、同大学院修了。
東京大学大学院教授、東京大学副学長、東京大学先端
科学技術研究センター所長を歴任。2018年4月より現職。

日本イコモス国内委員会委員長、I COMOS (国際記念
物遺跡会議)元副会長 (世界文化遺産の評価等を行う)。
専門は都市計画・都市保全計画・市民主体のまちづくり
論など。

4 委嘱状交付式

日時：平成30年8月23日 (木) 14:00～

場所：市長応接室

※ 景観や文化に関する政策を一層推進することを目的に、西村先生指導の下、関係課による景観・文化ワーキングチームを設置する。なお、当日午後3時から第1回会議 (非公開) を開催予定。

市長定例記者会見資料

金沢甘エビまつりの開催について

カニと並ぶ金沢港の代表的な海産物であり、全国トップクラスの水揚げを誇る甘エビの魅力を発信し、消費の拡大を図るため、9月8日(土)に「金沢甘エビまつり」を初開催します。金沢の代表的な漁法である底曳き網漁の解禁後に開催し、魚のおいしいまち・金沢をPRしていきます。

1. 日 時 平成 30 年 9 月 8 日 (土) 10:00~15:00 ※ 底曳き解禁後の最初の土曜日
2. 場 所 かなざわ総合市場 (金沢市無量寺町ヲ 51) ※ 金沢港隣接の産地市場
3. 主 催 金沢市、石川県漁業協同組合
4. 内 容

(1) 金沢港いきいき魚市での鮮魚市とお楽しみ抽選会の開催

底曳き網漁で獲れた新鮮な魚介の特売会を開催するとともに、旬の果物や野菜、買い物券などが当たる抽選会を開催

(①鮮魚市 9:00~16:00、②抽選会 9:00~15:00 ※景品が無くなり次第終了)

(2) 甘エビのふる舞い

金沢の甘エビと石川県産の新米でつくったシャリ玉のふる舞いを実施

(10:30~、先着 1,000 名)

(3) かなざわ総合市場探検ツアー

総合市場の中を漁協職員の案内を受けながら探検するツアーを開催

(10:30~、11:30~、13:30~、14:30~、各回約 15 分、30 名、当日受付)

(4) 親子体験コーナー

①甘エビの生春巻きづくり体験 (先着 200 組、一人 250 円、無くなり次第終了)

②魚箱持ち体験 (随時受付)

③ふれあい水槽 (随時受付)

④ミニショベル操作体験 (10:00~12:00、13:00~15:00、随時受付)

(5) 甘エビグルメコーナー

甘エビ揚げ、甘エビせんべい、甘エビラーメン、甘エビカレー、甘エビ焼きそば、甘エビクレープ、底曳きもの丼 ほか

(6) 金沢の海の幸マスコットキャラクター「さかなざわ さちこ」によるPR

(10:00~10:30、14:00~14:30)

〈参考〉甘エビの水揚げ量の市町村別ランキング

【H27 年】

1 位 北海道・羽幌町 841 t

2 位 石川県・金沢市 750 t

3 位 北海道・増毛町 657 t

【H28 年】

1 位 石川県・金沢市 755 t

2 位 北海道・羽幌町 569 t

3 位 兵庫県・新温泉町 525 t

※ 独自調査 (農林水産省 海面漁業生産統計調査の漁獲量データから、甘エビの生息エリアを抽出)



市長定例記者会見資料

加賀鳶発祥 300 年 P R 動画の配信について

発祥300年を迎えた加賀鳶の心意気を示す、加賀鳶はしご登りの P R 動画が完成しました。

今後、様々な媒体を活用し、藩政時代からの伝統を継承する加賀鳶はしご登りの文化価値とその魅力を国の内外に発信してまいります。

- 1 タイトル 加賀鳶の名演 (約 2 分 30 秒)
- 2 内 容 加賀鳶の歴史
加賀鳶はしご登りの演技 など
〔日本語版、フランス語版〕
- 3 配信時期 平成 30 年 8 月 11 日(土)～
※金沢市公式 YouTube チャンネルについては、市長定例記者会見後
- 4 配信場所 金沢市公式 YouTube チャンネル
金沢市消防局ホームページ
市役所庁舎前デジタルサイネージ
片町きららオーロラビジョン 等
- 5 その他
今後の主な出演予定
①スポーツイベント
金沢武士団開幕戦 9月29日(土)
金沢マラソン 10月28日(日)
②ナンシー市 聖ニコラ祭 12月上旬

